

子ども会KYTの進め方

【KYTとは】

K Kiken(キケン)、
Y Yochi(ヨチ)、
T Training(トレーニング)」

—KYTの進め方(例)—

- ・グループは6人くらいが最適
- ・リーダーと記録係と発表者を決める。
- リーダーはみんなに意見を言ってもらう。誘い水を出す。
- 記録係はとにかく書く。
- ・グループ名を決める。(1分)
- ・メモ紙(A4)と模造紙とマジック(黒、赤)2本を配布する。

【第1ステップ】5分～10分 ー危険箇所の洗い出し

みなさんで危険な箇所を探してください。

そして主語と述語、イラストの危険箇所に○印と番号をつける。

1. ～なので、～になる
2. ～なので～して～になる
3. ～したとき ～して ～になる

↓ ※具体的に書く(「・・・危険だ」「・・・危ない」はダメ！)

危険 = 危険要員 + 現象 の組み合わせで表現します。

(状態と行動)(事故の型)

※自分の想像でよい。

例) バナナの皮があるので足で踏んで転んで頭から血がでる。

※他人の批判はしない(ブレインストーミング)

【第2ステップ】5分

ここが危険のポイントだ《重大事故の絞込み》

- ・見つけた危険箇所の中で、特に注意を要する箇所に3つ◎印をつける。
一番あぶない箇所はどこだ！ 1つ●印をつける。

【第3ステップ】5分～10分

－対策の立案

先ほどの●印に対して対策を考える

- ・具体的な対策を2～3個書き出す
 1. △△なので、□□になる
 - ①バナナの皮は持ち帰る。
 - ②バナナの皮はごみばこにすてる。

【第4ステップ】5分～10分 ー行動目標の策定

- グループとして絶対しなければならないことに赤マジックで○印
（最重点項目を一つか二つにしぼってもらう）
⇒これをまとめてスローガンとする。（自分たちの行動目標とする）
～の時は、～を ～して ～しよう
例）バナナを食べる時は、皮をゴミ箱に捨てよう

※ただし、スローガンのできが重要ではなく、みんなで考えることが重要

- まとめ
 - ・記録係は
チーム名、ステップ2と3と4を模造紙に清書する。
 - ・その間、小さい子供は、イラストに絵を付けてもよい。

1. 全員前に整列
2. 発表者はチーム名と自己紹介(XXチームのXXです)
3. イラストの状況を説明(ハイキングをしています)
4. 第2ステップで決めた◎3つを発表
(発表者)「危険なポイント」
(メンバー)「〇〇なので、××になる」
5. 第3ステップを発表
(発表者)●の対策を考えました
6. スローガン発表
(発表者)「私たちのスローガン」
(メンバー)「〇〇を△△して、××しよう！」
7. これでXXチームの発表を終わります。